

医療ニーズに関する対応の目安

下記はあくまでも目安となります。医療機関・訪問看護ステーション・介護保険サービス事業所との連携体制・ご家族様のお力添えの状況によって個別に異なってきますので、まずはご相談ください。

医療ニーズ項目	可否	対応に関する基本的な考え方
認知症	○	通常の認知症であれば、ご入居できます。但し、自傷・他害行為、奇声等が見られ、集団での生活に問題がある方はご相談下さい。
人工透析	○	通院医療機関との連携等により対応させていただきます。透析中の食事療法についても、できる範囲で対応させていただきます。
在宅酸素	○	医療連携体制の構築により対応させていただきます。機器は医療保険対応で、個人負担になります。
膀胱留置カテーテル	△	詰まり・抜去等、緊急時対応の為の医療連携体制の構築により対応させていただきます。健康チェック時に看護職員は異常の発見に努めます。交換は担当医療機関又は主治医の指示により看護職員が行います。但し、特殊な手技が必要な場合を除きます。
人口肛門	△	現在の状況をお聞きし、可能な限り対応させていただきます。衛生材料は自己負担でご準備をいただきます。
ペースメーカー	○	定期的な受診等により、安定している方は対応させていただきます。
褥瘡処置	○	褥瘡の程度によりますが、医療連携体制の構築により対応させていただきます。衛生材料費は個人負担になります。
インスリン注射	△	原則、自己にて血糖測定や注射が可能な方又は見守り程度の方は問題ありません。血糖を測定し、その場でインスリン量の調整が必要な場合又は、就寝前の注射が必要な方はご相談下さい。
胃ろう・食道ろう等	△	異変等の際の対応のため、医療サービス(介護保険、訪問看護を含む)との連携体制の構築をお願いします。材料費等は個人負担となります。注入食の準備等、個別な対応を必要とする場合はご相談下さい。
経管栄養	×	異変等の際の対応のため、医療サービス(介護保険、訪問看護を含む)との連携体制の構築をお願いします。材料費等は個人負担となります。注入食の準備等、個別な対応を必要とする場合はご相談下さい。
痰の吸引	△	常時吸引を必要としない場合で、夜間は介護職員が行う口腔ケアによる除去のみとなります。衛生材料は個人負担となります。
中心静脈栄養(IVH)	×	厳密な清潔操作を必要としますので、可能であるなら退院前に胃ろう等による栄養確保の方法をご検討下さい。
気管切開	×	常時吸引の必要がある場合や、呼吸管理が必要な方は、ご入居が難しいと思います。
廃用症候による寝たきりの状態	○	状況によりご相談させていただきます。可能であれば、離床に向けてのサービスを検討させていただきます。
ターミナルケア	△	医療連携体制を構築し、ご入居者様やご家族様の意向を確認し、関係医療機関との連携により、可能な限り対応させていただきます。
電動車椅子のご使用	○	出入口、トイレ等の間口等を改修する必要がある場合は対応できません。
感染症	△	まずは診断書をご提出いただき、医療機関との相談の上、ご入居が可能かどうか検討させていただきます。